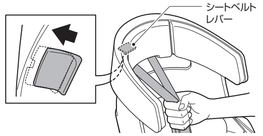
4．シートベルトの着脱　⚠注意：シートベルトは、ねじれの無いようにしてください。

1 シートベルトを引き出す

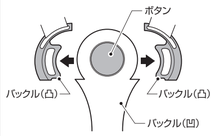
シートベルトをしっかり持ち、シートベルトレバーを後に引きながら、シートベルトを引き出します。
※シートベルトは必ず左右2本をつかみ引き出してください。



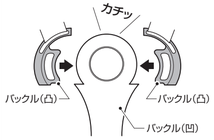
⚠注意　シートベルトから手を離し、シートベルトレバーを引くと勢いよくシートベルトが戻るので注意してください。

2 バックルを止める

外す時
バックル(凹)の中心にあるボタンを押して、バックル(凸)を外します。



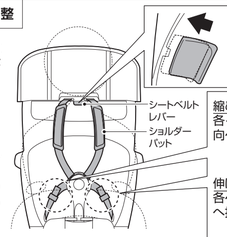
止める時
バックル(凸)をバックル(凹)に「カチッ」と音が鳴るまで押し込んでください。



3 シートベルトの長さ調整

このリヤキッズシートには5点式シートベルトが採用されています。

⚠注意
- シートベルトを必ず装着してから使用してください。
- お子様の首に巻き付いたり体を圧迫したりしないように注意してください。



シートベルトレバーを後へ引いて、シートベルトを締めて、ショルダーパットを調整してください。

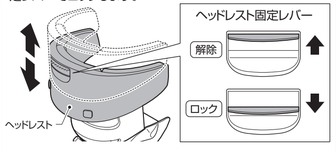
締め方
各ベルトを矢印(➡)の方向へ引き締め調整します。

伸ばし方
各ベルトを矢印(➡)の方向へ押し伸ばし調整します。

注意　シートベルトをアジャスター穴に通した時は必ずシートベルトの先端を20mm以上出してください。

5．ヘッドレストの調整

ヘッドレストの高さを調整できます。背面のヘッドレスト固定レバーを解除して、ヘッドレストを上下させ、再びヘッドレスト固定レバーでロックします。



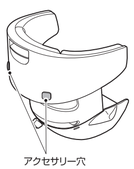
注意　ヘッドレストは、お子様がリヤキッズシートに着座した時に側頭部の保護部分がお子様の頭部中心(耳の上)より高くなるように調整してください。

6．アクセサリー穴について

アクセサリー穴は風防レインカバーなどを装着の際にご使用ください。

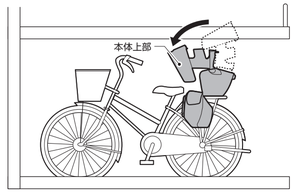
警告　●アクセサリー穴に荷物をかけるなど本来の目的以外に使用しないでください。自転車が転倒する可能性があります。

注意
- ●装着するアクセサリーは必ずOGK製の製品をご使用ください。
- ●取付け方や使用方法は各アクセサリーに付属の取扱説明書に従ってください。
- ●取付けが可能であるか販売店でご確認ください。
- ●アクセサリー穴(背面)を使用しないときは専用のキャップを取付けてください。



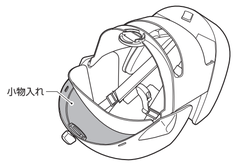
7．立体駐輪場への駐輪時

本体上部が倒れるので、駐輪時に便利です。



8．小物入れについて

クッション背後に小物入れがありますので、ご活用ください。



※再び本体上部を起こして使用する際は、3ページ「1 本体の組立て方」を必ずご確認ください。

品質保証書

1年間の品質保証

■本品の品質保証期間は1年です。正常な使用状態において万一故障した場合は、ご購入日より1年間無償で修理をさせて頂きます。ご購入の際の、販売店様の領収書(レシート)がご購入日の証明となりますので、大切に保管をお願いいたします。
■故障の際はお買上げの販売店、又は弊社へ本保証書を添えて御相談ください。(販売店に御持参いただく際の交通費等の諸費用は、お客様にて御負担願います)
■次に示すものに起因する故障は保証期間内でも対象となりません。
(使用者負担となります)
1.品質保証書のご提示のない場合、又は領収書(レシート)がない場合。
2.使用者の誤ったご使用、及び不当な修理や改造による場合。
3.輸送上の故障、移動、落下等による故障。
4.火災、地震、落雷、水害、公害、事故、盗難、いたずら、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
5.レンタルサイクル等不特定多数で使用した場合。
6.法令の違反行為によって生じたもの(最大積載量オーバー、定員オーバー)
7.塗使又は一般に自転車が走行しない場所での走行(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面、アクロバット、曲芸等)により生じたもの。
8.手入れの不十分、保管場所の不備及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合及びプラスチック部品等の自然退色。
9.部品の通常の磨耗、又は疲労と認めたもの(ハンドル、クッションシート及び可動部)。
10.一般に機能上の影響のない感覚的現象(音、振動)
11.本保証書に示す条件以外の費用等。
12.この保証書は盗難保険ではありません。
13.上記以外に取付取扱説明書に警告・注意事項に反した使用をされたとき。

◇ 保証修理を受ける為の条件及び手続き
保証修理を受ける為には次の事柄をご了承願います。
・保証修理を受ける場合、本保証書と商品及び領収書(レシート)を御持参ください。
・尚　本保証書の提示がないと保証修理は受けられません。本保証書は字句等を書換えた場合は無効となります。
・御贈答、転居及び他に譲渡する場合についてはお買上げ店又は弊社にご相談ください。
・この保証書は日本国内で使用される場合のみ適用されます。海外に持ち出す場合は、その時点で打ち切りとなります。
・保証修理に関するお問合せは、お買上げ店、又は弊社へご相談ください。
・修理に関して出張修理の依頼を受けた時は、出張費を請求する場合があります。

保証対象外部品(次に示すものの、交換修理は使用者負担となります)
●表記「8.9」の項の磨耗品及び疲労品、使用者がご自分で取付けた部品。
●製品の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。
●本保証において、弊社のお客様への保証手段は、弊社の選択による製品の修理、又は交換に限られるものとします。本品が製造中止となった場合等には、他の同等品を御案内させていただく場合があります。
●修理交換において保証期間の延長はございませんので、予めご了承ください。
●本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

オージーケー技研株式会社 お客様相談室　フリーダイヤル:0120−828−551
受付時間　月曜日～金曜日　午前9時～午後5時

装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行してください。

●本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするため、現物とは多少異なる場合もあります 。
●品質向上・改良の為予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承ください。

製造・販売　**オージーケー技研株式会社**　577-0066 東大阪市高井田本通6丁目2-32　TEL：06-6782-4353（代）　E-mail：info@ogk.co.jp

OGK　グランディア　RBC-017DX　取扱説明書

取扱い注意事項　この説明書は、ご使用の前に必ずお読みください。読まれた後は大切に保管してください。

製品重量：約4.5kg

●ご使用出来るお子様と自転車
ご使用になられるお子様の年齢及び体格を確認し、指定範囲以外のご使用はしないでください。

●適用体重	体重20kg以下（クラス25うしろキャリヤ使用時）体重22kg以下（クラス27うしろキャリヤ使用時）
●適用年齢と身長	1歳（12ヶ月）以上6歳（72ヶ月）未満のお子様で身長115cm以下。 (※乗車は2歳以上を推奨とします。)
●適合車種	うしろキャリヤの幅が150mm以上173mm以下の22～27型シティ車（婦人車、軽快車等）及び自転車メーカーが指定する20型以上の自転車。 （※両立スタンド装着車に限る。※ドレスガード付自転車に限る。） （※自転車の取扱説明書又は表示に「リヤキッズシート又は幼児座席は取付出来ません」と記載されている自転車には取付けしないでください。うしろキャリヤを交換する事で取付けが出来ると記載のある場合は必ず自転車販売店でうしろキャリヤを交換してください。） (※幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で製品が取付け可能なリヤキッズシートである事を確認してください。)

1．安全上のご注意

製品を正しくお使いいただく為に、次のような表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある内容を表示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が損害を負う可能性がある内容を表示しています。

■絵表示の説明

⃠ 安全上してはいけない内容及び行為を表す内容です。	❗ 使用者に必ず実行していただく内容です。

⚠警告

- ⃠ ●これは自転車用のリヤキッズシートです。他の目的に使用しないでください。
- ❗ ●自転車のうしろキャリヤ以外の場所に取付けないでください。
- ❗ ●取付けは自転車販売店にお申し付けください。
- ❗ ●自転車に取付けるリヤキッズシートは１つに限り、同乗させるお子様は１人に限ります。但し、幼児２人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能なリヤキッズシートである事を確認の上、フロントベビーシートと合わせて２つ取付ける事ができます。
- ❗ ●自転車にリヤキッズシートを取付け、お子様を同乗させる事により、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。
- ❗ ●使用する時は、うしろキャリヤ取付けネジも含めネジ等の緩みが無く取付けが確実である事を確認してください。又、破損、変形等したままでは使用しないでください。
- ⃠ ●一本スタンドの自転車には取付けしないでください。必ず、ロック付の両立スタンドをお使いください。

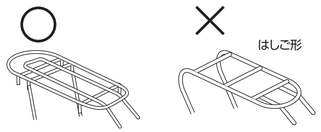
- ❗ ●ヘッドレストは、お子様がリヤキッズシートに着座した時に側頭部の保護部分が、お子様の頭部中心（耳の上）より高くなるように調整してください。
（※ヘッドレスト装備のもの）

- ⃠ ●自転車に同乗させるお子様は一般の自転車では１人、幼児２人同乗用自転車は前後に各１人に限り、使用できる幼児の年齢、体重及び身長の範囲を守ってください。
- ❗ ●お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。

- ❗ ●お子様をリヤキッズシートに乗せる時は荷物等を積んだ後に乗せ、降ろす時は荷物等を降ろす前にお子様を降ろしてください。
- ❗ ●お子様の乗せ降ろしの時は、リヤキッズシートのステップを使って登り降りさせないでください。強い力を加えると破損する恐れがあります。

⚠警告

- ●お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢である事を確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないよう、その位置に注意してください。
- ●リヤキッズシートの取付けに際しては、いわゆる「はしご形」のパイプキャリヤ等、外枠のみでリヤキッズシートを締め付ける為に、取付ステーが反って変形してしまううしろキャリヤには、取付けないでください。（取付ステーが反って変形すると、使用中に振動等で締め付けが緩みやすくリヤキッズシートが脱落する恐れがあります。）



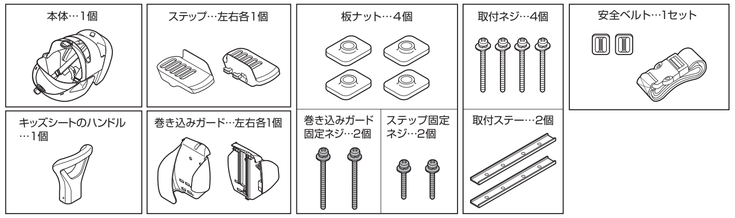
- ●お子様の足部安全の為、必ずドレスガードと併用してください。うしろ車輪にドレスガードの付いていない自転車には必ずお子様の足の届く範囲を覆うドレスガードを取付けてください。
- ●お子様を事故から守る為にヘルメットを必ず着用させてください。ヘルメットを着用させない場合の事故は重傷になりますが、着用させた場合は軽傷で済む事が報告されています。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用してください。
- ●リヤキッズシートの装着出来るうしろキャリヤは、クラス25、クラス27のうしろキャリヤに限ります。
- ●うしろキャリヤに表示されている最大積載質量を必ず守ってください。
- ●使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意してください。
- ●お子様の首にシートベルトがかからないよう注意してください。
- ●走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。
- ●悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。

⚠注意

- ●リヤキッズシートの取付位置はペダルを漕いだ時、運転なさる方のかかとがリヤキッズシートに触れない場所に取付けてください。
- ●自転車のリヤリフレックスリフレクタ（リヤ反射板）の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないように取付けてください。
- ●お子様には必ず靴を履かせてください。
- ●お子様を乗せる時は付属のシートベルト（腰ベルト、肩ベルト及び股ベルト）を必ず使用してください。
- ●お子様が眠らないように注意してください。
- ●シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- ●リヤキッズシートを雨ざらしにしないでください。
- ●自転車の表示、取扱説明書を確認して、その自転車にリヤキッズシートが取付け可能かどうかを確認してください。自転車にリヤキッズシートの取付け可否の表示の無い自転車は、適合自転車対象外になる為、装着が出来ません。自転車の取扱い説明書で判断できない場合には、自転車販売店に必ず相談してください。
- ●お子様を乗せ降ろしする時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行ってください。
- ●乗車及び走行中はお子様がリヤキッズシートのハンドルをしっかり握るように注意してください。
- ●火気高温に近づけないでください。
- ●ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取ってください。シンナー・ベンジン等は付着させないでください。
- ●シートベルトと安全ベルトの寿命は約2年です。必ず定期的に適正なベルトと交換してください。（有料）
- ●使用にあたっては交通法規を守ってください。
- ●ＳＧマーク制度は、リヤキッズシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。（新品で購入した日より3年間）
- ●６歳以上の児童を同乗させる事は道路交通法違反となり、違反の場合はＳＧマーク制度の賠償対象外となる恐れがあります。
- ●適合自転車、お子様の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合にはＳＧマーク制度の賠償対象外になる恐れがあります。

SGマーク

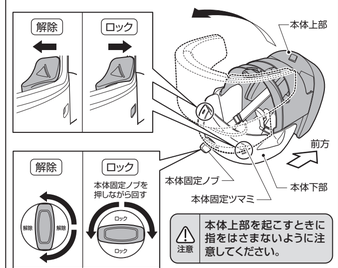
2．部品構成



3．組立て方・取付け方

1 本体の組立て方

本体上部を起こし、本体固定ノブと本体固定ツマミでロックします。

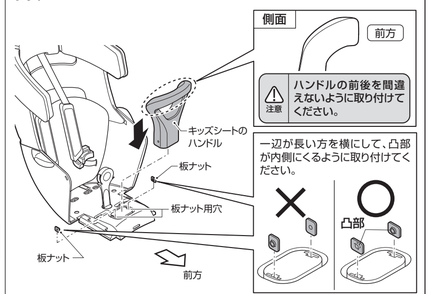


⚠注意 本体上部を起こすときに指をはさまないように注意してください。

※ノブはどちらの方向にも回せます。
※「解除」「ロック」の刻印をご確認ください。

2 キッズシートのハンドルの取付け

板ナットを板ナット用穴に差込んで、キッズシートのハンドルを本体に差込みます。

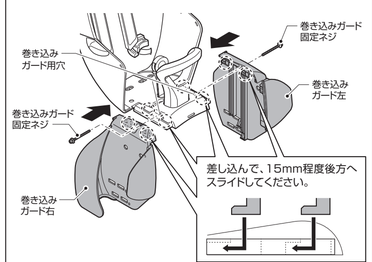


⚠注意 ハンドルの前後を間違えないように取り付けてください。

一辺が長い方を横にして、凸部が内側にくるように取り付けてください。

3 巻き込みガードの取付け

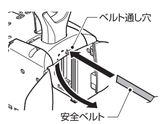
巻き込みガード右と巻き込みガード左を本体の巻き込みガード用穴に差込んで、15mm程度後方へスライドさせ、巻き込みガード固定ネジでしっかり固定します。（ハンドルも固定されます）。



4 安全ベルトの取付け

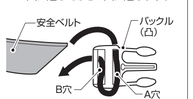
本体に安全ベルトを取り付けます。

1．安全ベルトを股部のベルト通し穴に通します。

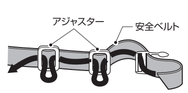


2．安全ベルトを2個のアジャスターに通します。

3．安全ベルトをバックル（凸）のA穴に通してからB穴に通します。

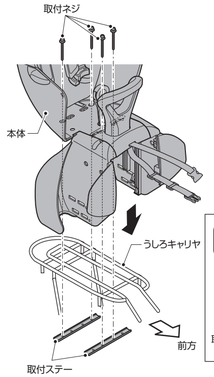


4．安全ベルトを再びアジャスターに通します。

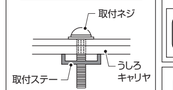


5 本体のうしろキャリヤへの設置

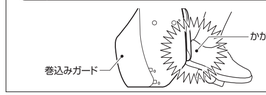
本体をうしろキャリヤにのせ取付け位置を決めたら、うしろキャリヤを取付けステーで挟むように取付けネジでしっかりと固定してください。



⚠注意 取付ステーの向きにご注意ください。



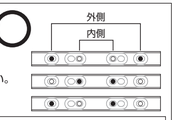
⚠注意 24型以下の自転車に取付ける場合、前方によせ過ぎますと運転中にリヤキッズシートの巻込みガードと運転なさる方のかかとが接触する事があります。取付けの際には充分ご注意ください。



重要

取付ステーの穴は外側、内側のどちらを使っても問題ありません。

※必ず●印の穴にネジを通してください。

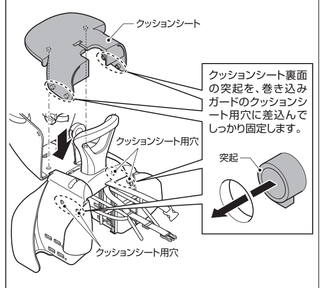


⚠注意 右側・左側だけに片寄った使用はしないでください。

⚠注意 自転車のリヤリフレックスリフレクタ（リヤ反射板）の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないように取付けてください。

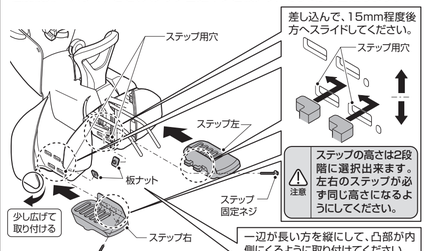
6 クッションシートの固定

クッションシートを本体にのせ、クッションシート裏面の突起を、巻き込みガードのクッションシート用穴に差込んでしっかり固定します。



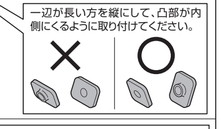
7 ステップの固定

ステップ右とステップ左を巻き込みガードのステップ用穴に差込んで、15mm程度後方へスライドさせ、ステップ固定ネジと板ナットでしっかり固定します。

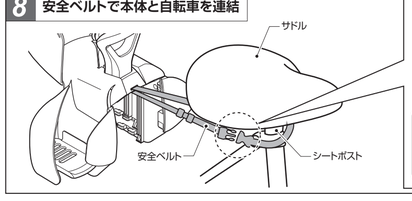


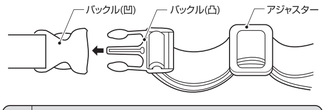
⚠注意 ステップの高さは2段階に選択出来ます。左右のステップが必ず同じ高さになるようにしてください。

一辺が長い方を縦にして、凸部が内側にくるように取り付けてください。



8 安全ベルトで本体と自転車を連結





⚠注意 ❗安全ベルトはぶら下げたままにしないでください。
安全ベルトの余った部分はタイヤ等への巻込みがないようにアジャスターで調整してください。また、バックルが外れた状態での乗車はしないでください。